


2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

 ユシロ化学工業株式会社 TYO 5013

2020年8月



A dynamic splash of water in shades of green, with numerous droplets and ripples, set against a light green background.

2021年3月期第1四半期 決算業績概要

Results

2021年3月期第1四半期 業績概要（連結）

- 連結売上高は、インドを除く海外子会社ではコロナウィルス感染症が拡大する1月～3月の実績を取り込んでいる関係で減収幅は大きくなかったが、日本、中国及びインドの影響により減収。
- 営業利益、経常利益及び四半期純利益は、各国の活動制限措置による企業活動抑制で経費は減少したが、減収による影響で大きく減益。

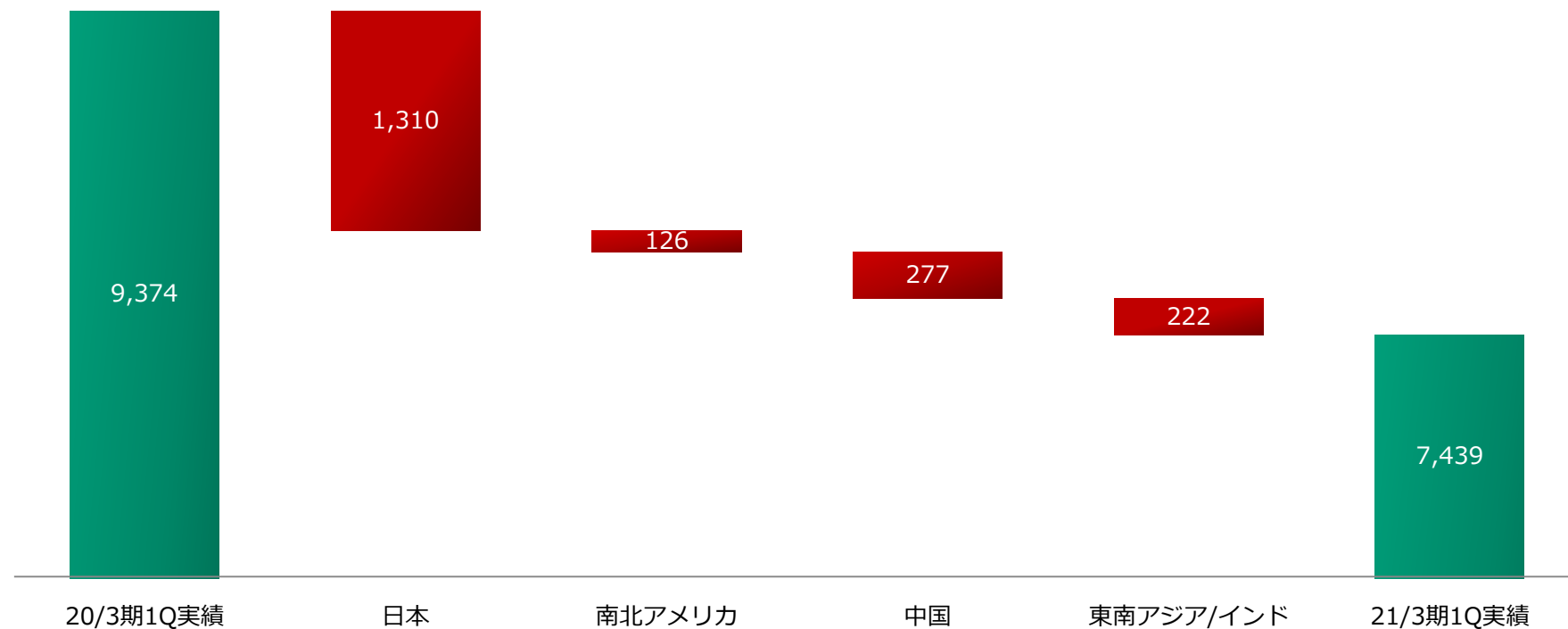
（百万円）

	20/3期1Q	21/3期1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	9,374	7,439	△1,935	△20.6%
営業利益	585	92	△493	△84.3%
経常利益	741	227	△514	△69.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	545	161	△384	△70.5%

2021年3月期第1四半期 売上高のセグメント別増減

- 各セグメントとも新型コロナウイルスの影響で減収。
- 海外セグメントは、1月～3月の実績を取り込んでいる関係（インド除く）で減収幅は小さかったが、顧客の稼働率が一番低下した4月～6月の実績を取り込んでいる日本セグメントが大きく減収。

(百万円)

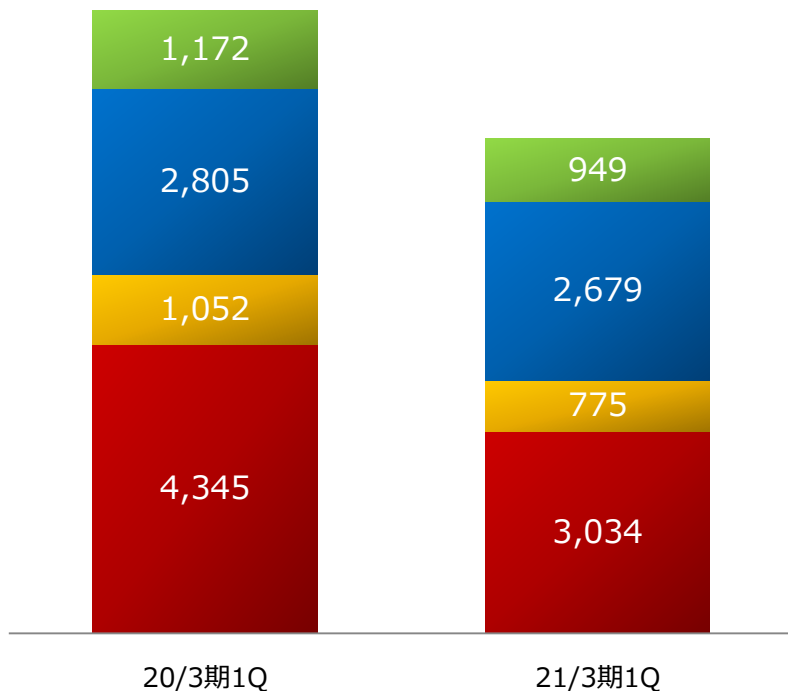


2021年3月期第1四半期 地域別売上高

- 国内：コロナウイルス感染症の影響で、得意先の自動車メーカー等での生産停止・減産により、減収。
- 海外：1～3月実績のため、コロナウイルス感染症の影響は小さかったが、生産停止が早く実施された中国、4～6月実績のインドは影響が大きく、減収幅も大きかった。

セグメント別売上高（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

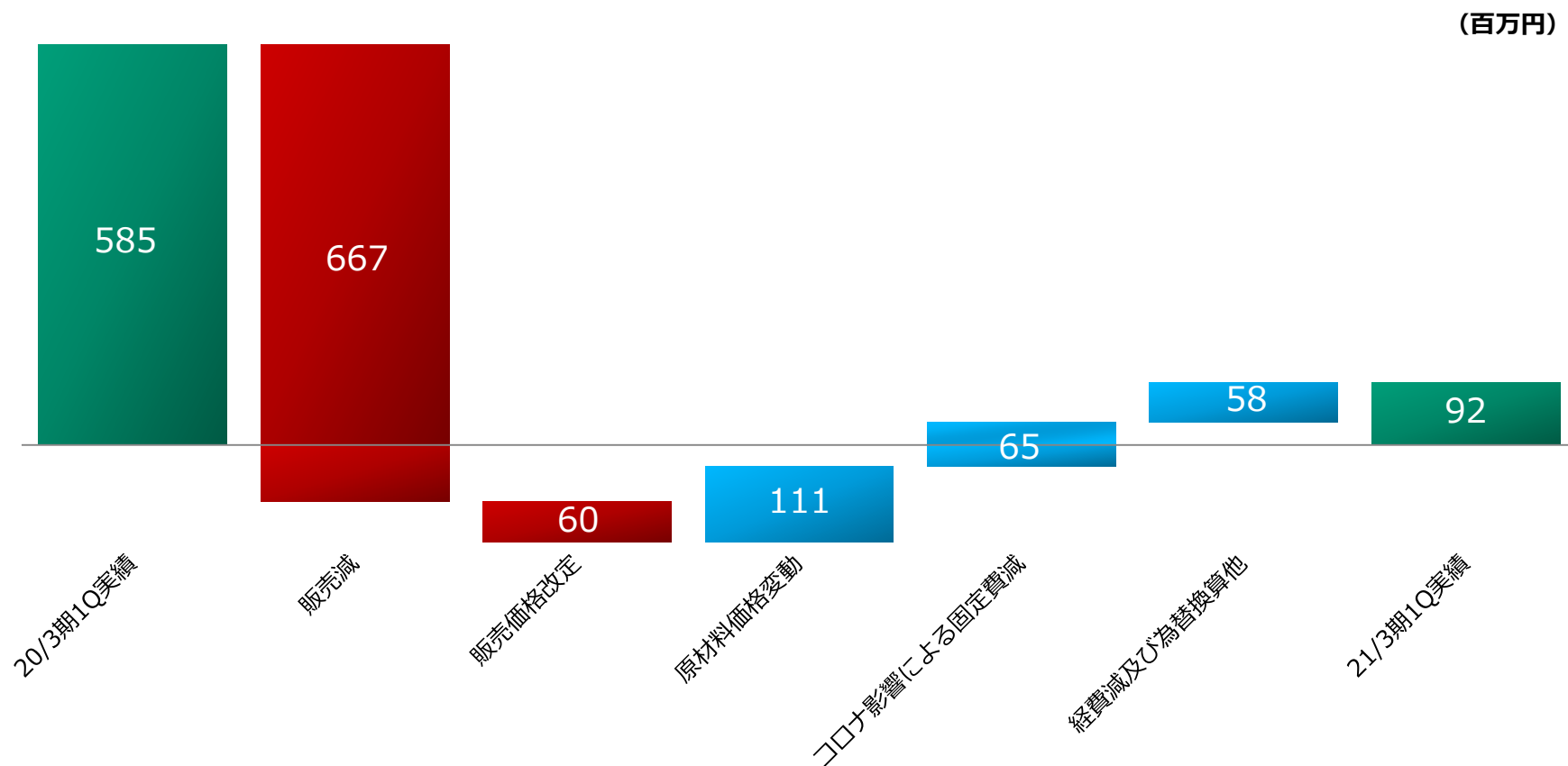


拠点別売上高（百万円）

拠点	20/3期1Q	21/3期1Q	増減率	
日本	4,812	3,404	△29.3%	
アメリカ	アメリカ全体	2,351	2,281	△3.0%
	うち QualiChem社	(1,400)	(1,404)	+0.3%
メキシコ	276	256	△7.3%	
ブラジル	260	196	△24.7%	
中国	1,276	917	△28.2%	
タイ	512	459	△10.2%	
マレーシア	236	210	△11.1%	
インド	214	46	△78.4%	
インドネシア	284	283	△0.6%	

2021年3月期第1四半期 営業利益（連結）増減要因分析

- 原材料価格の変動、経費減少があったものの、
コロナウイルス感染症の影響による販売減少で大きく減益。

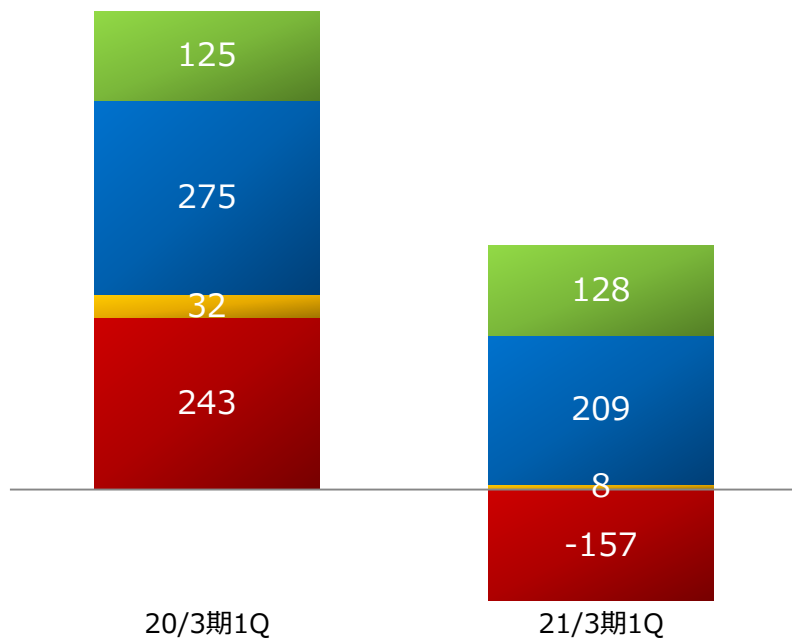


2021年3月期第1四半期 地域別営業利益

- 国内：売上高減少により固定費負担が影響し損失。
- 海外：コロナウイルス感染症の影響は比較的少なく、東南アジア/インドセグメントは増益。中国セグメント、南北アメリカセグメントは減収が響き減益。

セグメント別営業利益（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド



拠点別営業利益（百万円）

拠点	20/3期1Q	21/3期1Q	増減率	
日本	176	△229	—	
アメリカ	アメリカ全体	253	190	△25.1%
	うち QualiChem社	(161)	(112)	△30.5%
メキシコ	42	35	△17.6%	
ブラジル	6	2	△68.2%	
中国	62	21	△66.0%	
タイ	76	83	+8.3%	
マレーシア	21	26	+24.9%	
インド	7	△18	—	
インドネシア	43	68	+59.4%	

2021年3月期 業績予想

Forecast



©2020 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

昨今の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的拡大に伴い、合理的な将来予測が困難であることにより、2021年3月期の業績予想は現時点で未定とさせていただきます。

今後、新型コロナウイルス感染症の当社事業および業績への影響を慎重に精査し、合理的な予想が可能となり次第、速やかに公表させていただきます。

新型コロナウイルス感染症への当社グループの対応

- 各国の規制、自動車メーカーの生産停止により当社グループでも操業停止、減産を余儀なくされている
- テレワークの実施、時差出勤の活用、操業時間の短縮など、各国の状況に沿った感染対策を実施している

セグメント	2020/1 - 2020/3		2020/4 - 2020/6	
	自動車生産の動向	当社グループの対応	自動車生産の動向	当社グループの対応
日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 各メーカーは3月下旬頃より生産停止および減産を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業は一部活動自粛。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各メーカーは5月下旬から生産を再開したが、国内市場の低迷により減産を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月、5月は営業活動の自粛、減産対応を実施。6月は営業活動の自粛を緩和。
南北アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> ● 米系メーカーは3月中旬、日系メーカーは3月下旬より生産を停止。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅勤務、シフト制を導入。一部生産調整を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各メーカーは5月中旬から順次生産を再開。ブラジルは感染拡大により再開が6月～7月にずれ込んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月以降は3月の対応に加えて休業日を設定。アメリカは5月中旬より通常稼働に移行。
中国	<ul style="list-style-type: none"> ● 各メーカーは1月末に一斉に生産を停止。2月中旬～下旬より順次生産を再開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車メーカーの生産再開を受け、営業活動を再開するが、訪問禁止の企業が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系メーカーの生産体制は5月に入り通常の状態に戻り、6月は前年同月を上回る生産台数となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月中旬より訪問を解禁する企業が増え、本格的に営業活動を再開。
東南アジア / インド	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系メーカーは3月下旬より生産停止または減産を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅勤務、シフト制を導入。シャットダウンにより、操業を停止する拠点あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系自動車メーカーは5月下旬から順次生産を再開したが、5月、6月の稼働は限定的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月に入り操業禁止は解除となったが、休業日の設定、シフト勤務、在宅勤務は継続。

※自動車生産の動向に関する参考資料：『自動車産業ポータルMARKLINES 各種市場レポート』



当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシノの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシノの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみにより全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシノグループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシノをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。